



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年8月6日

上場会社名 アトミクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4625 URL https://www.atomix.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神保 敏和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括部長 (氏名) 富士田 学 (TEL) 03 (3969) 0471
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,402	5.5	116	433.6	125	336.7	80	559.2
2020年3月期第1四半期	2,276	△0.8	21	△32.1	28	△27.0	12	△37.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 132百万円(-%) 2020年3月期第1四半期 10百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	12.90	—
2020年3月期第1四半期	1.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,328	9,891	69.0
2020年3月期	14,231	9,856	69.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 9,891百万円 2020年3月期 9,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	2.8	190	20.8	200	16.2	130	26.0	20.75
通期	10,900	3.6	470	13.1	490	11.2	330	16.7	52.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	7,242,000株	2020年3月期	7,242,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	978,117株	2020年3月期	980,417株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,263,499株	2020年3月期1Q	6,256,483株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により個人消費や企業活動が大きく抑制されたことで経済環境が一気に悪化しました。「緊急事態宣言」解除後は、各種政策により経済活動の回復への期待がもたれますが、新型コロナウイルスの収束時期が見通せないため、先行き不透明な状況が続いています。

このような厳しい環境のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染予防と拡大防止を念頭に置き、従来の営業活動が自粛されるなかでWEB等を利用した営業活動を行い、また、時差出勤・在宅勤務等を導入し従業員と家族の感染防止に最大限留意するとともに、その中でも安定供給に向けた生産活動と新製品の研究開発活動を行ってきました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高24億2百万円（前年同期22億76百万円）、営業利益1億16百万円（同 21百万円）、経常利益1億25百万円（同 28百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益80百万円（同 12百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

<塗料販売事業>

道路用塗料は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が懸念されていましたが公共工事で一部の遅れがあるものの、予定されていた工事が実行されたため、トンネル材などのインフラ補修関連製品と施工機械関連の売上が伸張し前年を上回りました。床用塗料においては、新型コロナウイルスの影響により民間企業の設備投資が低迷したため売上が伸びず前年を下回りました。家庭用塗料においては、外出自粛により発生した「巣ごもり需要」で、ホームセンター分野及びインターネット販売による売上が伸張し前年を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は、前年同期と比べて1億24百万円増加し23億55百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

<施工事業>

新型コロナウイルスの影響により民間企業の設備投資が停滞し床材工事の売上が低迷しましたが、公共工事が大きな遅れもなく実行されたため前年並みの売上となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の施工事業の売上高は、前年同期と比べて1百万円増加し、47百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて97百万円増加し、143億28百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金で5億90百万円減少したものの、現金及び預金で3億14百万円、電子記録債権で1億37百万円、仕掛品、原材料及び貯蔵品で2億49百万円増加したためです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、44億37百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金で83百万円、短期借入金及び長期借入金で36百万円、未払法人税等で64百万円、賞与引当金で86百万円減少したものの、電子記録債務で56百万円、流動負債のその他で2億76百万円増加したためです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて35百万円増加し、98億91百万円となりました。これは主に、配当金で98百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益で80百万円、その他有価証券評価差額金で51百万円増加したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、2020年8月5日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,756,971	3,071,550
受取手形及び売掛金	3,516,291	2,925,456
電子記録債権	584,519	722,116
商品及び製品	1,033,466	1,029,832
仕掛品	257,807	457,004
原材料及び貯蔵品	487,284	537,338
その他	36,331	59,943
貸倒引当金	△27,321	△25,369
流動資産合計	8,645,352	8,777,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,150,041	1,133,488
土地	2,930,024	2,930,024
その他(純額)	387,683	358,017
有形固定資産合計	4,467,748	4,421,529
無形固定資産	227,901	212,085
投資その他の資産	890,408	917,500
固定資産合計	5,586,058	5,551,116
資産合計	14,231,410	14,328,988
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,747,987	1,664,492
電子記録債務	880,651	937,439
短期借入金	211,670	193,825
未払法人税等	87,240	22,706
賞与引当金	146,287	60,091
返品調整引当金	3,150	3,150
その他	552,924	829,663
流動負債合計	3,629,912	3,711,368
固定負債		
長期借入金	198,610	180,000
役員退職慰労引当金	74,237	76,833
株式給付引当金	84,268	87,794
退職給付に係る負債	285,432	285,689
資産除去債務	42,657	42,768
その他	59,948	52,910
固定負債合計	745,154	725,996
負債合計	4,375,066	4,437,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	740,308	740,308
利益剰余金	8,352,204	8,334,516
自己株式	△444,984	△443,637
株主資本合計	9,687,528	9,671,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169,779	221,126
退職給付に係る調整累計額	△964	△691
その他の包括利益累計額合計	168,814	220,435
純資産合計	9,856,343	9,891,623
負債純資産合計	14,231,410	14,328,988

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高		
商品及び製品売上高	2,231,764	2,355,839
工事売上高	45,231	47,074
売上高合計	2,276,996	2,402,913
売上原価		
商品及び製品売上原価	1,539,621	1,602,706
工事売上原価	38,918	33,955
売上原価合計	1,578,539	1,636,661
売上総利益	698,457	766,251
販売費及び一般管理費	676,600	649,616
営業利益	21,857	116,634
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	5,698	5,936
為替差益	84	314
その他	2,390	3,265
営業外収益合計	8,184	9,525
営業外費用		
支払利息	1,378	995
営業外費用合計	1,378	995
経常利益	28,662	125,164
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	41	30
リース解約損	827	—
特別損失合計	869	30
税金等調整前四半期純利益	27,793	125,134
法人税、住民税及び事業税	6,664	17,958
法人税等調整額	8,866	26,347
法人税等合計	15,531	44,305
四半期純利益	12,262	80,828
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,262	80,828
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,783	51,347
退職給付に係る調整額	470	273
その他の包括利益合計	△1,313	51,620
四半期包括利益	10,949	132,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,949	132,449
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
--

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。